

でっかいホームランを！

目標掲げて、常に戦う体勢を！

林家竹丸 まずは、このたびの野球殿堂入り、おめでとうござい

門田博光 ありがとうございます。

竹丸 米国では、昨年イナリ選手をはじめ日本人メジャーリーガーの活躍が目立ちました。門田さんは彼らの活躍をどうご覧に

なれましたか？

門田 マリナースに移籍した城島選手の活躍がうれしかったですね。本場のメジャーリーガーにひ

けを取らない体格もあるし、1年

目から結果を出せたのは、日本人

選手の技術レベルがメジャーに

少し近づいていることを実

感させてくれました。また最近

は、野球人気の復活を促す大きな

力になったと思います。

荒屋隆 わたしは海外で12年間、

人材紹介・派遣業に携わっており

ますが、現地に進出する日系企業

を見てみると、従来の年功序列で

はなく、実力主義、責任主義で現

地人材を擁する企業も増えて

きました。その意味で、野球の世

界と非常に似てきたのではない

かと思えます。実力次第で、年俸

が上がったり下がったりするん

ですね。

竹丸 いま、日本の球界ではフリー

エージェント(F.A.)が常識となっ

ていますが、門田さんが現役の時代は、ひとつの球団に骨を埋めるのが当たり前でした。

門田 そういう時代でした。生え抜きを重視する傾向がありまし

たからね。昔から野球ファンは、

会社例えれば巨人・阪神は大会

業、パリーグの球

団は中小企業と

いうような見方

をする。選手なら

誰でも「大企業に

移りたい」と思い

ますよ。いまはF

A宣言すれば、ど

こにでも行けま

すから、いい時代

になったと思っ

た。

後藤敏夫 わたし

は香港・シンガポールで18年、日

本人子女の教育にかかわってき

ましたが、海外に住む日本人の

意識はここ数年、大きく変わっ

たと感じます。

駐在する日本人の数が多くなっ

て、現地日本人社会の「日本化」が

進んでいます。日本と変わらない

生活になって、逆に長く現地に住

んでいる子が日本にあこがれ、「日

本に戻りたい」と思うようになっ

た。昔は、現地に溶け込んで、日本

人離れた個性を輝かせている

子どもが多かったのですが、最近

の海外子女は「右にならえ」式の

日本人になっちゃって、なんと

元気がないですね。イチロー選

手のように、ダメもとで海外で頑

張ってみようというチャレンジ

精神を見ると、素晴らしいと思

うのですが、

荒屋 門田さんは40歳になってか

らもホームラン王になられた華々

しい経歴の持ち主ですが、「20

07年問題」といわれるように、

今年は多くの団塊世代の方々が

一斉に退職する年となります。こ

うした中高年の方々が、引退後も

「華を持ち続け

るためのポイン

トは何だと思

いますか？

門田 年齢とい

うのは周りが騒



最近の日本人は「横並び意

識」が強いと思うのですが、これ

いんです。

後藤 最近の日本人は「横並び意

識」が強いと思うのですが、これ

いんです。

門田 年齢とい

うのは周りが騒

ぐことであって、

自分が年齢にと

らわれる必要は

ないと思います。

自分がまだ達成

していない夢や

目標をひたすら

思い続けて、戦

いなければなら

ない。退職した

らもホームラン

王になられた華

々しい経歴の持

ち主ですが、「20

07年問題」と

精神的にひ弱な最近の子どもたち

門田 ひとつ心配なのは若い世代

も大きな問題なんじゃないでしょ

うか。日本はもう、みんなが一緒

に頑張れば、共に豊かになれるよ

うな「右肩上がり」の時代じゃあ

りません。中国やインドと同じモ

ノを作ったって到底太刀打ちで

きないわけですから。

そこで40歳にしてホームラン

王になった門田さんの素晴らしい

さが再認識されるわけです。米国

のように、ただホームランの数を

打てばいいというものじゃない。

門田さんの快挙には、日本の一味

違う素晴らしい「メイド・イン・

ジャパン」の素晴らしい力が集約さ

れているし、それを誇りにして戦

うべきじゃないでしょうか。

後藤 最近、躁うつ病やノイロー

ゼといった「心の病」に苦しむ人

が増えていますね。わたしたちが

20代のころは、そんなにいなかった

た。仕事や生活におけるプレッシャー

が昔よりも強いのかもしれない

んが、門田さんの言うように、厳

しさに耐えられない弱

さも原因なのかも

かもしれません。

門田 われわれの幼

気持ちはあるようです。それで

かすが別々になってしまっ

うね「お父さんの箸がついたお

かずは食べられない」なんてこと

言うわけですね。

後藤 わたしたちの時代だったら、

そんなことを言えば親父に怒

られたものですね。

門田 そうそう。縦社会がしっ

かりと育って、少々の困難には

こたえなくなったわけですが、

いまはそれがなくなり、立ち上

ることのできない人が多いんだ

と思います。怒られるとすぐへ

んでしまふ若い世代の人たち

を見ると、寂しくなります。

荒屋 われわれ人材業界では、「こ

れからは「ホワイトカラー」では

なく、「ゴールドカラー」の時代だ

と言っています。ゴールドカラー

というのは、普通性の高い専門

力やマネジメント能力、実績があ

り、リーダーシップを発揮でき

ること。野球でいえばイチロー

選手のような存在ですね。

そういう、いい意味で「異端児

」のような人が組織に2、3人い

ると、組織は活性化すると思

います。イチロー選手のような人

材が企業の中でも活躍する時代

をつくらないと、日本の産業や

国そのものが滅びてしまうので

はないかと危機感を感じます。

